

実施報告書

第 28 回ジュニアヨット国際親善東京レガッタ ミキハウスカップ東京 2018

実行委員長 元 憲幸
レース委員長 石原敏明

はじめに

平成 30 年 9 月 9 日（日）、第 28 回ジュニアヨット国際親善東京レガッタ「ミキハウスカップ東京 2018」が東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所に於いて開催されました。

一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟（以下 JJYU という）と東京都ヨット連盟の共同主催で、特別協賛を「株式会社ミキハウス様」に頂き、外務省、文部科学省、公益財団法人日本セーリング連盟の後援と大塚製薬株式会社様、スターモア化粧品株式会社様の協賛を頂きました。若洲ヨット訓練所の管理会社 NPO 法人マリンプレイス東京、若洲ヨットハーバーで活動されている夢の島ヨットクラブ、江東ジュニアヨットクラブ、中央区ヨット連盟ジュニア部、江東区立小中学校セーリング部の指導者・保護者の皆様、また、スバル興業株式会社の東京夢の島マリーナ様の協力を頂いて無事に大会を開催出来ましたことに御礼申し上げます。

北は北海道室蘭セーリング協会から南は沖縄県宜野湾はごろも海洋少年団まで全国から、10 クラブ 53 艇（OP 級初級者 19 艇、OP 級上級者 30 艇、レーザー 4.7 4 艇）のエントリーがありました。クラブの指導者・保護者 68 名に運営役員・委員 65 名とセーリング体験 3 家族 6 名の総勢 192 名が参加し賑やかな大会となりました。

後援を頂いている公益財団法人日本セーリング連盟から直前の 9 月 7 日に、「台風 21 号と北海道胆振東部地震支援募金のお願い」が連盟事務局に届いたので、急遽募金箱を設置して、レガッタ参加の皆さんに募金をお願いして、集まった募金を公益財団法人日本セーリング連盟事務局にお届けしました。

午前 7 時に開門予定でしたが既に 6 時 30 分には門前で開門を待つ選手たちがいました。ハーバーのご協力により開門を繰り上げ 6 時 45 分に門が開かれました。運営役員、スタッフが続々と集まり 7 時 30 分には、エントリーの確認、参加受付を行いました。

プログラム（帆走指示書記載）の配布が行われ、ミキハウス様提供の参加記念品、JJYU の広報誌「ユースセーリング」もお渡ししました。



東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所



全員で記念撮影



朝の運営ミーティング



大会受付



ブレザーは誰の手に？

開会式

8時30分から開会式が行われました。冒頭に JJYU 佐藤会長代行の開会宣言のご挨拶、株式会社ミキハウス取締役社長室長の光川彰夫様のご挨拶がありました。

開会式に引き続きレース海面ごとのスキッパーズミーティングが行われました。若洲沖 A 海面は石原敏明レース委員長から、ハーバーポンド内は筒井洋二レース副委員長から説明を行いました。



佐藤会長代行による開会宣言



ミキハウス取締役社長室長の光川彰夫様のご挨拶



A 海面のスキッパーズミーティング



B 海面のスキッパーズミーティング

レース

【A 海面：若洲沖三枚洲付近】

今大会は風速8～9m/s、風向190度の安定したシーブリーズが吹きました。上級者クラスに上がったばかりの選手や、体格が小柄な選手にはややきびしかったかもしれませんが、上級者にふさわしいコンディションで、OP級上級者全3レースが行われました。

OP級上級者

開会式終了後すぐに沖合の風、波の状態を確認するためマークボートを海上に出しました。レース海面の報告を受けたあと、全運営艇を出艇させレース準備を開始しました。

09:50 D旗を陸上で掲揚、レース艇を出艇させました。

10:40 レーススタートさせましたがゼネラルリコールとなりました。

ゼネラルリコールの理由はスタートラインの追い潮が早いので選手がスタートラインから出てしまう状況でした。このためスタート・アウトマークの位置を調整してスタートラインを再設定しました。

第1レース 10:52、エントリー30艇中1艇がレース海面まで行けずにリタイヤ、オールクリアでスタートし、DNS 1艇、DNFが2艇で26艇がフィニッシュしました。

第2レース 11:45、第1レースリタイヤ艇はDNC。更にスタートラインに届かなかった1艇がリタイヤで、28艇がUFD 1艇でスタートし、DNFが3艇で24艇がフィニッシュしました。

第3レース 12:50、第2レースのDNC、リタイヤ艇がこのレースもDNC、28艇がオールクリアでスタートし、DNC 2艇、リタイヤ1艇、強風で差がついてDNFが10艇で15艇がフィニッシュしました。

3レースとも、特にランニングのレグになると艇を波に乗せる走りができる夢の島ヨットクラブの重松選手が他艇を引き離してトップでフィニッシュしました。

OP級上級者

1位	重松 駿	夢の島ヨットクラブ
2位	宮本 あかり	夢の島ヨットクラブ
3位	富永 晏吏	江東区立小中学校セーリング部
4位	上田 瑞	葉山町セーリングセーリング協会
5位	北浦 菜月	江東区立小中学校セーリング部
6位	落合 創太	横浜市民ヨットハーバージュニア



スタート前の風景



OP 級上級者のスタート



スタート直後、サイドマークでの攻防



サイド～下マークの攻防



上マークの攻防



上マークをトップ回航する重松くん

【B海面：若洲ヨット訓練所前ポンド内】

OP 級初級者クラス、及び沖ではレースが難しいとの判断でレーザー4.7 の海面を変更して B 海面で行いました。

風は、南～南西の風で 20 度程の振れ風、風速も 5～8 m/s の順風。ポンド内のレースとしては、安定した条件で全レースを終了することが出来ました。合計で 11 レースを行うためにレース時間が短く物足りない選手もいたと思いますが、最大限のレース数を成立させることが出来ました。

まず、今回エントリーのあった OP 級初級者クラス 19 艇を 2 ディビジョンに分けて各 2 レースを実施しました。コースは S-1-3-1-3-F。各ディビジョン 2 レースを終了後、続いてレーザー4.7 を 3 レース実施しました。コースは S-1-2-3-1-2-3-F。レーザー4.7 の選手には短い距離であったと思いますが、3 レース目の順位で総合順位

が確定するほど拮抗した展開となりました。レーザー4.7はこの3レースでレース終了としました。

昼食休憩後、OP級初級者クラスの決勝ディビジョン分けを実施しました。先に予選下位11艇にてシルバーフリート2レースを実施し、内上位3艇を含めた上位ゴールドフリート決勝戦(予選上位通過8艇+3艇)を2レース実施しました。共にコースはS-1-2-3-1-2-3-F。午後も午前中と同様に風向風力とも安定しており、最終レースは予告信号を14:35ギリギリに発することが出来ました。ポンド内は距離も短く。潮の流れ、風の振れ、岸壁近くのブランケットなど難しいコースです。しかし岸壁からのコーチ、ご父兄の大きな声援が選手の大きな支えになったと思います。

OP級初級者クラス

- | | | |
|----|--------|--------------------|
| 1位 | 尾崎 友太 | 葉山町セーリング協会 |
| 2位 | 内田 歩 | 葉山町セーリング協会 |
| 3位 | 下平 凱士 | 葉山町セーリング協会 |
| 4位 | 上田 舞花 | 葉山町セーリング協会 |
| 5位 | 佐藤 直輝 | 葉山町セーリング協会 |
| 6位 | 宇仁 航士郎 | YMFS ジュニアヨットスクール葉山 |

レーザー4.7

- | | | |
|----|--------|----------------|
| 1位 | 小山 すみれ | 江東区立小中学校セーリング部 |
| 2位 | 小原 奏慧 | 江東区立小中学校セーリング部 |
| 3位 | 梶山 真央 | 江東区立小中学校セーリング部 |



OP級初級者のスタート



OP級初級者 上マーク 上~サイドマークの攻防



サイド～下マークのトップ争い



レーザー4.7のスタート



上～サイドの攻防



優勝した小山すみれさんのフィニッシュ

ヨット体験試乗会と国際親善

日本在住の外国の子供たちにミキハウスカップ東京のレースに参加して欲しいと願い、在日外国大使館、領事館、在京外国人学校、インタナショナルスクールに呼びかけています。ヨットレースに参加出来る子供たちが集まらない状況です。そこで、日本在住の外国の子供と家族に集まって頂いて、ヨットのセーリング体験をしてもらおうと体験試乗会を毎年企画し実施して来ました。

参加した子供・家族がセーリングの体験をして「ヨットを続けてみたい」という気持ちになって欲しいと思います。希望される方には若洲ヨット訓練所で活動している夢の島ヨットクラブ、江東ジュニアヨットクラブ、中央区ヨット連盟ジュニア部をご紹介します。

今年は3家族6名の方々が参加され、ピクニックキャットという船に乗り、レース観戦をしたりセーリングの体験をしていただきました。



体験試乗会参加の皆さんとピクニックキャット

表彰式・閉会式・親善交流パーティー

15:30 閉会式に先立ち、艇の片づけの終わった選手達に親善交流パーティーという事で食事を始めて貰い、準備が出来たところで表彰式が開始されました。野村式典部長の司会、リードで滞りなく和やかな雰囲気の中で行われました。

石原敏明レース委員長からは強い風、波の中を選手の皆さんがよく頑張ったこと、また高間博之プロテスト委員長からは今回のレースでは抗議が無かったこと素晴らしい大会だったとの挨拶がありました。

引き続き表彰式があり成績上位の方々が表彰されました。OP 級上級者クラス優勝の重松駿選手は3レースすべてトップフィニッシュの素晴らしい成績でクリスタルガラスのミキハウスカップと副賞のブレザーが贈られました。

OP 級初級者クラスの優勝は葉山町セーリング協会の尾崎友太選手、レーザー4.7は江東区立小中学校セーリング部の小山すみれ選手が優勝して、カップ、メダル、副賞が上位入賞者に授与されました。

クラブ対抗レースは葉山町セーリング協会チームが優勝し、JJYU 会長特別賞の海外セーリング研修への参加資格が授与されました。

遠方から参加された室蘭セーリング協会の鵜野環選手にはミキハウス様から特別記念品が贈られました。

閉会式では、江の島の湘南ヨットハーバーで行われているワールドカップに参加しているミキハウス所属の須長由季選手が駆けつけて挨拶され、B海面のレースを楽しく観戦したことを話され、選手の方々に激励の言葉が贈られました。

表彰式の後も引き続き親善交流パーティーで、レースに参加した選手・家族・指導者の皆様が各地から参加された仲間たちと交流して盛り上がりました。今年はタイ料理が供され皆さんが美味しく頂きました。また、暑い中での大会であったため、かき氷コーナーが開設されました。数種類の味が用意され、皆さんがおいしく頂いていたのが印象的でした。

最後に恒例の入賞できなかった選手の皆さんだけが参加出来る「じゃんけん大会」が行われました。これもミキハウス様からのご提供による賞品が手渡され参加した選手全員に記念品が行き渡りました。

最後に参加した選手・指導者・保護者・スタッフ全員でハーバー内の清掃ゴミ拾いを行ったあと無事に大会を終えることが出来ました。

最後に

毎年 特別協賛を頂いている三起商工株式会社（ミキハウス）様をはじめ、大塚製薬株式会社様、スターモア化粧品株式会社様などの協賛、そして後援、協力をいただいた各団体、企業の皆様と NPO 法人マリンプレイス東京、若洲ヨット訓練所のスタッフの皆様、夢の島ヨットクラブ、江東ジュニアヨットクラブ、江東区立小中学校セーリング部、中央区ヨット連盟ジュニア部の指導者・保護者の皆様のご協力に改めて感謝と御礼を申し上げます。

以上



高間博之プロテスト委員長講評



佐藤会長代行のご挨拶



OP級初級者優勝の重松くん（左から二人目）と上位入賞の皆さん



OP級初級者優勝の尾崎くん（左から二人目）と上位入賞の皆さん



レーザー4.7 優勝の小山さん（左）と上位入賞の皆さん



クラブ対抗レース優勝の葉山町セーリング協会チーム



ミキハウス所属の須長由季選手のご挨拶



親善交流パーティー



あまりの暑さにかき氷屋さん



急遽募金を行いました



恒例じゃんけん大会



自転車も当たりました